

私が
私であつて
よかつたと
いえる
あなたになれ
「中島みどり」

ほうきさん

2015年 7月

椋本673 存仁寺



－ キ ャ リ ー ・ 恩



早く原子に代わって自然
エネルギーになつていかな

「失われた道しるべ」
忘れかけてた
人の温もりお金なんかで
買えないもの
かけがえのないイノチに
照らされ 歩いて
いくのさ 闇の中を

大垣から来ました真宗大谷派広専寺住職近藤龍磨です。
孟子・孔子・養子、天草から入寺。 徳川家康の親戚で岡崎
市浄妙寺住職天白真央です。 九年前鈴木君代さんとご縁をいた
だきました。 今は東も西もあらへん、お釈迦さまから親鸞さ
まに「これ、ええなあ」という人がいてくださり、伝わってき
た。一曲目「恒河沙の願い」 お浄土っていつ始まったの？
お念仏申したときから。

「真宗宗歌」 三番
世界の国々 へだてなく
如来の徳の とうとさを
わがともがらと たずさえて
浄土の国に 生れ往かん

「真宗宗歌」を歌いましょう。
ただ、大正時代添削されました。
今日は三番の歌詞私はこう歌いたい



「蓮如挽歌 エレジー」
一、まぶたに閉じれば浮かびくる
つないだ母のてのひらの
ぬくもり熱き柔らかさ
幼い日々の笑い声
二十五、泣く泣く筆を染めてぞと
歎きの抄に綴られた
仰せに背くことなしか
かなしきかなや 泥蓮(はちす)

「それ、人間の浮生なる相をつらつら観ずる
に、おおよそはかなきものは、この世の始中
終、まぼろしのごとくなる一期なり。・・・」
「我やさき・人やさき・白骨のお文」
今日とも知らず 明日とも知らず
危ういいのちを生きている
百までは生きられると言われたら
あーあ虚しく笑ってみるか



「若狭の海」
若狭の海に雪が舞う あやしげな光に包まれ
行き交う船に力もなく 重くのしかかる原発銀座
夜をあんなに明るくしといて
夏をあんなに寒くしといて まだまだ
足りないなんて



7月の行事

1日(水) 6時30分 おあさじ
19時30分 コーラス

5日(日) 10時 日曜学校

16日(火) 6時30分 おあさじ



無量寿会一日研修
湯ラックス

25日(土) 16時00分 仏教壮年会例会
親睦バーベキュー

25日(土)・26日(日)

芸濃町仏教会夏季法要

芸濃町内仏教会夏季大法要

町内各家の物故者の方々、ご先祖の方々を偲びつつ法縁に遇わせて頂きます。今年は林地区で修行されます。皆さん、是非ご参拝下さい。

(7月 6日(月) 準備会 西方寺にて)

7月25日(土) 法話 椋本存仁寺 山田教尚師

7月26日(日) 法話 萩野玉泉寺 黒川真浩師

両日とも13時よりおつとめ15時頃まで

会場 川原 閑翁寺様にて(天台真盛派)

8月の行事



1日(土) 6時30分 おあさじ

7時30分 仏教婦人会墓地清掃

3日(月) 8時おみがき、午後本堂清掃

7日(金) お寺にあつまろー キッズサンガ

11日(火) 盆参り 鈴鹿・四日市・桑名・名古屋

13日(木) 盆参り 午前 西町 新道

午後 富家 新屋敷 岩原 豊久野

14日(金) 盆参り 午前 中町 新町 新町南

午後 花の木 団地

(初盆報謝の時間は8月号にて)

15日(土) 豊が丘・一身田・亀山盆参り

16日(日) 6時30分 おあさじ

盆汁 新町新道組

14時 灯籠送り・歓喜会法要

20日(木)~21日(金) 教区サマーキャンプ

23日(日) 10時半 前住七回忌法要

教区・鈴鹿組関連 7月

7月5日(日) 鈴鹿組同朋研修会

9時より 芸濃庁舎

テーマ 「神道の差別と

伊勢の浄土真宗」

講師 本願寺伊勢教堂主管・

浄久寺住職 脇田博さん

参加対象 各種教化団体・寺院総代

門徒推進員・実践委員会

門信徒・住職・坊守・衆徒

7月19日(日) 鈴鹿組連研10回

専念寺 「悪人正機」

(自分は善人ですか、悪人ですか)

「私が私でよかったといえる あなたになれ」

私が私でよかったといえる世界は、存在の肯定を表しています。しかし、人はこんな私ではダメだと思ってしまう方が多いのではないのでしょうか。草木をはじめ、他の生物を見てみると、すべての草木、生物が「これでいい」、「それでいい」と、それぞれの存在の肯定を認めあっているように見えます。私も、仏さまは、私たちがかかえている煩惱ではないのでしょうか。どこまでもあまじい私ですが、そうであればこそ、仏さまは見放すことなく見守られ、「それでいい」と、やさしく包み込み、支えてくださいます。いつでも、どこでも仏さまと一緒にいたければ、こんなに心強いことはありません。人間に生れてよかった、いま生きているありがたさ、尊さを心身いっぱいにいただいてこそ、いきいき日暮らしてできると申せましょう。それがそのまま「私が私であるよかったです」といえるあなた(人)になれる、ということなのではないのです。互いの存在を肯定するだけです。みんな、それでいいのです。

梅雨の時期、雨は作物を育てるのに欠かせないですが、草も元気になります。除草剤を散布していただいたり、婦人会の皆様に清掃奉仕をいただいたり致しますが、及ばないことですので、お参りの際には自家、周りの清掃にも心がけてくださいますよう、ご協力宜しくお願い申し上げます。